

広報

のあさひ

No. 333

'84

8/15

さわやか朝日岳町民登山

(撮影/安藤茂雄広報委員)



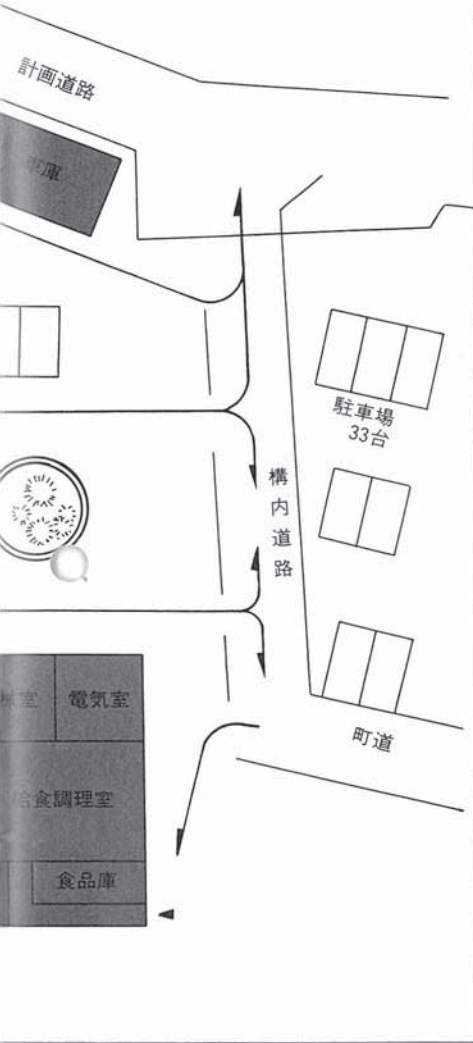
始まる町立病院改築

三カ年かけ明るくモダンに

わたしたちの身近な医療機関、朝日町立病院は、老朽化に伴い改築が迫られていましたが、ことしから三カ年をかけて一部改築、一部改造という形で進められることになり、まもなく工事がスタートします。

総工費は約六億円を見込んでいますが、まず今年度は、給食・エネルギー棟を建設。来年度には病棟を新築、そして最終年度に、残りの部分の改造・改装をする計画です。

今月は、病院がどう変わるのか、わたしたちが気軽に、安心して利用できるための課題は何なのか。みんなで考えてみたいと思います。



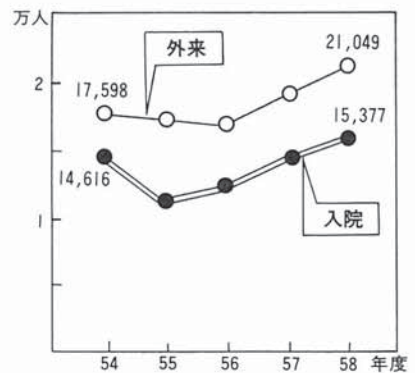
総工費六億円を見込む

町立病院は、昭和三十三年三月に完成し、六月に開院。町民にとって唯一の身近な有床医療機関として、これまで大きな役割を果たしてきました。

あれから二十六年経過したいま、老朽化が進み、院内は手狭になっています。特に、一床当たりの面積が二十四平方メートルで県内の自治体病院平均の半分以下と狭く、さらに看護面でも病棟が分かれているという構造上、問題が残っていました。

町立病院の老朽化に伴う改築問題と経営上の問題

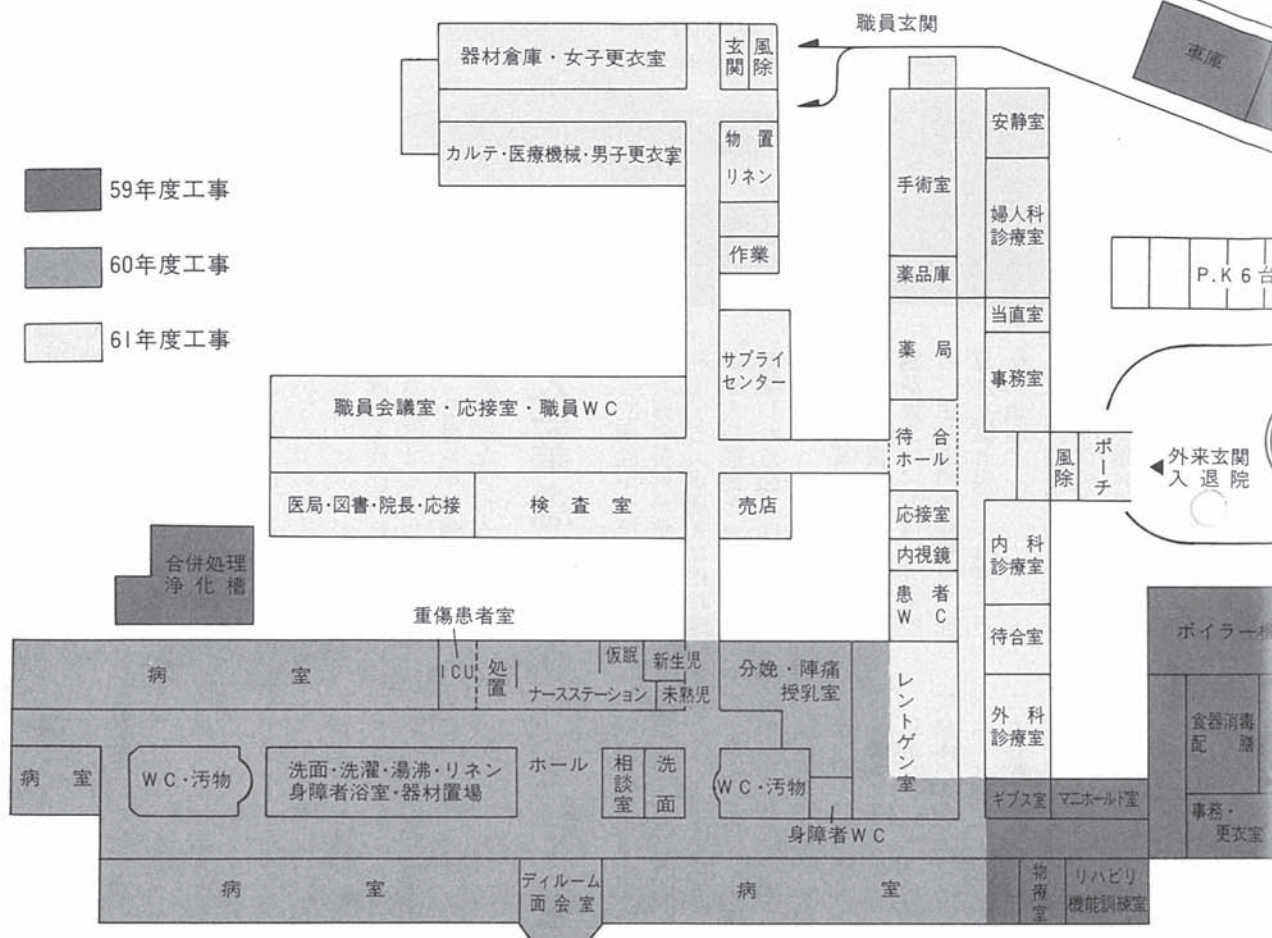
図1 *町立病院患者数の推移



についてどう対応すべきなのか、昭和五十七年十月、町では町立病院改築問題調査研究協議会(堀重雄会長以下九名)に諮問。町立病院の必要の是非、経営形態、診療科目などあらゆる面から調査研究をしていただきました。

協議会では、八カ月後の昭和五十八年六月、調査研究の内容をまとめ町へ答申しました。答申の内容には、①住民の定住条件の一環として、病院の経営形態、経営の安定方策を検討することにより存続させるべき

* 町立病院改築事業平面図



だ。

②ただし全面改築では改築後の経営に財政上無理が生ずるので、一部改築して、まだじゅうぶん使用に耐えられる部分を改造すること。

③経営面では、町立病院と町内開業医が協力して住民の医療に当たるオープンシステム病院(開放型病院)について検討したが、現状では難しい面も多い。安定経営を図るには、病院自体が企業の自覚を認識し、サービスピ精神に徹し、経費の節減に努力すべきである。といったことが盛り込まれています。

これらの答申を受けて、五十八年十月の臨時議会で審議、五十九年度から三カ年をかけ改築していくことになりました。

以来、設計などについて病院建設委員会でじゅうぶん煮つめられてきました。

今年(1960年)は給食・エネルギー棟を建設。来年度には病棟を新築、最終年度に診療棟など残りの部分の改造・改装に取り組んでいきます。さらに医療機器の更新など

医師の安定した定着は病院経営に大きな力となる



も含め、総工費約六億円を見込んでいます。

ゆとりある

病棟が目玉

設計の内容を見てみると、構造は鉄筋平屋建てですが、特徴としてあげられることは、給食・エネルギー棟を別棟に建設し、ゆとりを持たせたこと。病棟は六十床とし、これまで三棟に分かれていたものを一棟にまとめ、機能性を重視したことがあげられます。特に、身障者や手術後の



町立病院は建設いらい26年たち
老朽化が目立つ

患者のための専用便所や専用浴室を設置、病棟の中央付近にはナースステーションを設け、常に病室に目が届くようになっていきます。

さらに、入院患者同士の談話や家族とのふれあいのできるデイルームや入院患者がスムーズに社会復帰されるようにリハビリ機能訓練室も設けられます。

お産室はまったく新しくし、分娩室や陣痛室には防音装置がなされるなどの気

企業意識に立った経営を

町立病院が改築され、施設整備の条件が整っても、利用する人が増えなければ、ばく大な経費をつぎ込んで整備した意味がなくなります。

自治体経営の病院は住民に対する医療サービスの役割が大きい、とはいうものの、企業部門の性格上、採算性を度外視しては考えられません。

ここで、最近の町立病院利用状況を図1により見てみたいと思います。

くばりが見られます。

相談室も新しく設けられ、プライベートな相談を医師や看護婦とできること、また、病棟内に電話ボックスを置き、個人的な電話が自由にできるようになっています。

三年度目に行われる改造工事では、診療棟にゆとりのある待合ホールをつくるほか、手術室や検査室の充実に力を注ぎます。

よう、改善に努めなければなりません。

医療関係だけの収支を見ると、昭和五十八年度で五千六百万円の赤字ですが、五十五年、五十六年の八十九千万円の赤字からみれば、改善されてきています。

医療福祉という面からすれば、定住の条件としてなくてはならない町立病院。反面、病院企業経営という立場からは、一般会計を圧迫しないような健全経営をぜひ進めていかなければなりません。

病院経営に携わる人たちの徹底した努力はもとより、わたしたち町民も我々の町立病院、という気持ち忘れずに、みんなで育ててほしいものです。

＊

ここで、町立病院の利用者に改築に対する意見、利用しての感想を聞いてみました。

患者の身になった

環境づくりを

建築業（54歳）

三年半ぐらい前に、胃病で一カ月ほど入院した時の感想ですが、当時トイレが和式しかなく、手術後だったので、とてもたいへんでした。

それに、老朽化が進んでおり、十二月の厳冬期ということもあったのでしようが、非常に寒かったですね。夜の九時をすぎると暖房が切れ、病人にとって身にこたえました。

患者の身になった環境づくりを急いでほしいと思います。あと食事時間のことですが、夕食が四時半と早く、調理婦さんの勤めの関係もあるのでしょうが、何とか改善できないものではないでしょうか。

いろいろ要望はありますが、学校などと同様、身近に入院設備のある病院があるのとないとではずいぶん違います。町民にとって町立病院はぜひ必要です。いまの先生がたも優秀なかたばかりです。町民の医療のために長くいてほしいものです。



サービス精神おう盛に

町立病院事務長 登坂 盛高

改築の設計にかかる前に患者さんの意見や希望をたくさん聞きました。まず診療棟を新しくしたらどうか、という声もあったのですが、病院はやはり入院が主なので、病棟の改築を二年次にもってきたわけです。

病棟の中で特に気を使ったのは、体の不自由な人のための便所や浴室ですね。これまででは非常に使いにくかったという声がありましたから。それに、デイルームや相談室、電話室などプライベートを守れるように

配慮したつもりです。皮膚科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科などの診療科目をふやしてほしいという声も聞きますが、診療室や設備も必要ですので、さらに住民の意向を調査したうえで検討していきたいと考えています。

病院を改築すれば、電気や暖房、水などのエネルギー関係の経費がかさんでくると思います。これまで以上に節約に努めるとともに職員共々サービス精神をおう盛にして、町立病院の健全経営をめざしてまい進する覚悟です。



お産室も新しく

看護婦長 伊藤 とし

看護婦の立場から、改築の設計の段階で要望を言わせてもらいました。お産室を病棟に含め、陣痛室や分娩室、授乳室などがまるっきり新しくなります。防音装置も付いています。看護も一生懸命ですから、こんどぜひ利用してください。

また、お年寄りや体の不自由な人のための専用トイレや浴室はとても便利だと思っています。

今年のような猛暑を考えると、患者さんたちは、ほんとうにつらいと思います。冷房装

置はぜひ実現してほしいですね。

最近、患者さんたちも大規模病院志向が強く、すぐ大きな病院を紹介してくれといわれます。自分たちの税金で病院を営営しているんだ、という気持ちで、特に継続して通院しなければならぬ病気の場合は、ぜひ地元町立病院を利用してほしいものです。

わたしたち看護婦も、夜勤で疲れ切っている時などでも、「いつも笑顔を忘れずに」をモットーにがんばっています。

耳鼻科などの

専門科を

主婦(35歳)

小学五年生の息子がアレルギー性鼻炎で、週一〜二回寒河江の耳鼻科に通っていますが、夫もわたしも勤めなので、通院のために送り迎えするのにとても苦勞しています。

身近にある町立病院に耳

鼻咽喉科を設置してもらえれば、たいへん便利になるのですが——

科の設置が無理であれば週一〜二回県立病院等から医師を派遣してもらおうことはできないでしょうか。

耳鼻科だけでなく、皮膚科や眼科、歯科などでも、町外の専門医院に通っている人が最近とくに増えていると聞いています。

専門科の設置をぜひ検討

冷房を

入れてほしい

入院患者(62歳)

してほしいと思います。

現在の病院には冷房がないので、ほんとうに困ります。特にことしのように猛暑が続くと、夜も眠れず苦しい毎日です。

新しくなる病棟には、ぜひ冷房装置を入れていただ

きたいですね。

これまでの病棟や診療棟は、老朽化がはげしく、暗く清潔さに欠けていたように思います。

こんど改築されることになり、明るく、ゆとりのある病院に生まれ変わることですが、優秀な先生と看護婦、職員のかたに恵まれ、町民医療の殿堂として、さらに充実してほしいものです。



看護婦たちは、病院経営の第一線に立って日夜動き回っている

真剣に工業大学

*企業マン250名が参加

たいせつなQC活動

町工業振興協議会(阿部宗一郎会長)が主催する第四回工業大学校が、七月十一日と十二日の両日、中央公民館で開かれました。

今回のテーマは「QC(クオリティ・コントロール品質管理)活動の実践について」。夜間の学習にもかかわらず、各事業所から二五〇名が参加。かつてないおおぜいの受講生となりました。

初日の幕あけに、まず阿部会長が「いい暮らしをするにはいい収入を↓いい収入を得るにはいい仕事を↓いい仕事の中味は?といえ、やはりQCではないか」とあいさつしました。

引き続き、QC活動の実践について、長井市マルコン電子株式会社の村上正也氏の講義に入り、「品質管理を一言でいうと『力を合わせて、良い品を安く、早く、多くの人に』ということになる。管理とは、計画↓実施↓

確認↓処理のサイクルをよい状態に回すこと。

また、品質管理は、どちらかというと、製造部門、技術部門対象に製品を作る過程を中心に進められているが、現在ではむしろTQC(総合品質管理)が求められている。

生産、販売、管理の全部門にわたって、科学的手法を活用して、質と量とコストを最善に持っていくように計画し、実施し、常にこれをチェックし、改善のアクションをとること」など品質管理の重要性を力説しました。

実践例を发表

二日目は「実践しているQC活動の发表」で、㈱アサヒニクニ、㈱朝日片桐、㈱朝日相扶のサークルが、ステージに詳しい資料を提示しての具体的な発表に、参加者たちは、眠気も忘れ熱心に聞き入っていました。二日間の学習をもとに、今後のQC活動の充実を期待したいものです。

消防の担い手 はつらつ

☆初任団員合宿訓練に41名

町民の生命と財産を守る消防団——実際の消防活動に携わるための基礎知識や技術を学ぶ初任団員合宿訓練が、七月十三日から三日間にわたり、中央公民館で行われました。

今回は四十一人の団員が参加、町政の概要、消防団の任務などについて講義を聞いたあと、実技に入りましました。実技の基本は何といっても訓練礼式。消防団幹部や消防分署員の指導で、何度も繰り返しながら身につけていきます。

次は消防の花、ポンプ操法です。二日、三日と訓練を積み、お互いの連係プレーもうまくできるようになりました。同じ釜のめしを食った四十一人の同期生たちは、二泊三日の合宿ですっかり打ち溶け、今後の精進を誓い合っていました。



幹部の指導でポンプ操法を習う



合宿では食事がいちばんの楽しみ

夜おそくまで真剣にQC活動を学ぶ



さわやか 君

西村 宗



花のある商店街づくりを進め、うるおいと温かさを創造しようと、このほど宮宿中央通り(八〇〇区間)に、フラワーボックスが設置されました。

これは、自治宝くじ普及広報事業として行われている緑化推進コミュニティ助成事業に該当したもので、九十万円の助成金に寄附金など合わせて百五十一万円の事業費で宮宿名店会が主体となり実施したものです。

宮宿中央通りの両側にフラワーボックス百二十個が設置され、植栽されたマリゴールド、インパチェンスがかわいらしい花をつけています。

うるおいのある商店街づくりを、と始められたこの事業。花の手入れは商店街の人々の手に委ねなければなりません、歩く人にも理解を深めてもらい、きれいな街づくりにみんな一体となって取り組んでいきたいものです。

花は人の気持ちをなごませてくれる



花いっぱい街づくりを



宮宿中央通りにフラワーボックスを設置

9月16日 第4回ワイン祭り 心ゆくまで楽しもう



ワインと牛肉、飲み放題食べ放題のだいご味を味わってみよう

恒例のワインまつりが、さらに充実して開かれます。秋の一日、町産のワインと牛肉を心ゆくまで味わってください。

- とき 9月16日(日) 午前11時～午後2時
- ところ 上郷ダム公園
- 内容

- ①ワインパーティー／ワイン飲み放題。牛肉バーベキュー食べ放題。
- ②特産品即売コーナー／ワイン、ブドウ、リンゴ、菓子、ハチミツなど
- ③アトラクション／カラオケ大会、ききワイン大会、プレゼント抽選会など
- パーティー券 2,500円
ただし、子ども券は、当日販売で1,000円
- ※パーティー券のお求めは役場企画課、農協、商工会、ワイン工場へ
- ※10人以上の場合は予約してください。1割引になります。席も確保しておきます。(予約は企画課へ)
- ※問合せは役場企画課(☎7-2111)へ

農業委員会視察研修を

終えて

今回の農業委員会の研修は、長野県の北東の隅に当る下高井郡山ノ内町でした。七月十七日から三日間の日程で、小林町長にも御同行を願ひ、委員、事務局総勢二十名で訪れました。

山ノ内町は、昭和三十年に、平穏町、穂波村、夜間瀬村の三カ町村が合併して出来た町です。人口は一万八千人、農家数は一、六六二世帯。農地は標高五百、六百の所にあり、傾斜地で、農家一戸当りの耕地面積は六二アと小規模で、朝日町のそれよりも少ないことになりました。



善事業による農地の基盤整備が減反政策すなわち水田利用再編対策と共に進められてきたこと。それに現在は、リンゴを主力としたわい化栽培(わい化団地各地区に有り)の導入と、その普及率と共に規模が拡大されているということ。農家の数も農業従事者も多くなっているのも見逃せないことでしょう。それにUターン者が増えているのは特記すべきことです。

また、山ノ内町では、役場を先頭とし農業委員、農協と共に農業者年金協議会が昭和五十八年九月に結成され、その成果として、農業者年金にこの一年間で八十二名の加入をみたという事です。この点をみても、農業者の人口が増加していくのがわかります。

農家の人口は町全体の三分の一を占めており、わい化リンゴ、エノキダケにみな一生懸命に取り組んで

いる様子がうかがえました。

専業農家が多いためだとは思いますが、山ノ内町には三農協があり、生産されたりリンゴは、すなわち三地区に共選所があり販売に当たっていました。三地区共選所(農協)に持ち込まれるリンゴは、A地区では100割、B地区では92割、C地区では75割の割で、高度に生産者が利用していること、農協役員の協力的な姿勢がうかがえます。

農業後継者の育成、結婚問題については、昭和四十年に結婚相談委員を十二名委嘱しましたが、相談を受けたのは現在までに二件だけ。結婚問題では何の心配もなく、順調にいつているという話に、一同びっくりしてきました。

先進地を視察して、当町の農業委員会でも見習う点が多く、さらに、農協、土地改良区、役場の各関係者の今後の行動力と英知に期待したい。

(農業委員会農地部長・遠藤喜右エ門)

余裕がなければ

東京連絡事務所だよりNo26

「人には余裕というものがなくては、とても大事はできない。いくら物事にこ

せこせして働いても、仕事に成就することもできない。きっと戦いに勝とうという者には、なかなか勝ちできない。つまり無理があるからいけないのだ。せ

んじつめれば、余裕がないからのことよ」——勝海舟氷川清話より。

人生今や八十余年。時間単位になおすと約七十万時間となる。このうち、労働時間は十分の一の七、八万時間。自由な余暇時間は何と二十一、二十五万時間といわれる。

最近「余暇時間」の受

け取り方も、今までの余ったヒマな時間という受身の姿勢から、積極的につくり出す自由な時間へと変わってきている。

しかし、この余暇時間の約半分の十二万時間は、テレビを見てゴロ寝というのがほとんど。残り半分は自己啓発のための勉強やけいごとについてやす。勤勉で真面目だが、個性に欠けるという日本人の習性は変わらない。

ゆとりを忘れると、人は心身の健康も害しかねない。昨年、自殺とノイローゼが最も多かったのは、働き盛りの四十代というデータが出ています。中間管理職としての責任は重く、また家庭に帰れば大黒柱としての務めなど、気苦労が絶えない。ゆとりを失った世代に、心身に害する者が多いのは当然であろう。

独創的なアイデアや発想の転換は、苛烈な仕事にあっても、なお失わない余裕やゆとりから生れてくるという。

朝日町のある地区で、五



「税話」④

贈与と税金

贈与税は、個人から財産をもらったときに、もらった人にかかる税金です。

●贈与税の計算

まず、一年間に個人から贈与を受けた財産の価額（贈与を受けた財産を時価によって評価した額）を合計します。つぎに、基礎控除の60万円を差し引き、残額に税率を掛けた額が贈与税額となります。したがって価額の合計額が60万円以下であれば贈与税はかかりません。具体例をあげると次のようになります。

〈計算例〉

（贈与を受けた財産の価額） （基礎控除） （課税価格）

300万円 - 60万円 = 240万円

（課税価格） （税率） （控除額） （贈与税額）

240万円 × 35% - 28万円 = 56万円

※税率は、課税価格が高くなるにつれて、上がります。



ちょっと奥さん

サラ金

高金利のからくり

サラ金業者の大半が日歩20銭、年利73%以上の高利をとります。日歩20銭とは、100円を借りた1日当たりの利息で、1カ月で0.2円×30日＝6円となり、1年では0.2円×365日＝73円となります。つまり年利73%ということです。10万円だと、7万3千円になり、このように高利だということをもず頭に入れておくことです。



ちなみに、銀行は年13・5%、クレジット・カード18%、信販会社23～35%です。（出資法の改正で最高金利、日歩20銭、年利73%は懲役等で罰せられます）

組の夫婦が新婚当時から少しづつ積立をして、銀婚式を記念して今年、東南アジアに旅行をしたと聞く。これこそ、リッチに富んだライフワークといえよう。海外旅行でなくとも、年に一度夫婦きりで旅をする余裕がほしいものである。

「人はなぜあかくせく働き必要以上に悩み苦しむのだろうか。所詮行き着くところはみんないっしょなのになえ」最近、私の妻が突然こんなことを言った。ハッと

と思ったが、冷静に考えてみると、これは、何もできなかった三級女房の「一人言」といえよう。なぜなら、悩み苦しみ生きて行くこと自体、人生なのだから。またお盆がやって来た。蛙は産卵期になると必ず自分の生れた川をさかのぼり産卵する。川の水のにおいをかぎ分けて、絶対に間違わない。これを「母川回帰」本能というのだそう。

私もまた、母川回帰の今年である。（大井尚武）



激流を下るときのスリルと豪快さは満点

「全国一にはめったになれない」

…雪谷チームの声

優勝した雪谷Bチームに感想を聞いたら「3人とも舟を扱った経験はあるので、水には慣れていたが、何といってもチームワークだべなあ。」

大会が終わった夜、公民館に村じゅうの人が集まり全国一を祝い合った。「全国一にはめったになれるもんじゃない。」

(雪谷チームのメンバー／鈴木和夫、鈴木春夫、鈴木正広)



長かった8キロの道のり。ゴールすればドッと疲れがくる



1位の雪谷チームに賞金10万円と副賞が贈られた



ばい

町制施行30周年記念事業

最上川

激流8キロの熱い戦い

全国イカダ下り選手権大会に35チーム

＊63分42秒で雪谷Bチームが優勝

去る7月22日、最上川の激流を舞台に全国イカダ下り選手権大会が開かれた。最初30チームを募集したが、予想以上に反響があり、県内外から48チームの申込みがあった。結局、イカダを35準備し、抽選で出場チームを決めた。

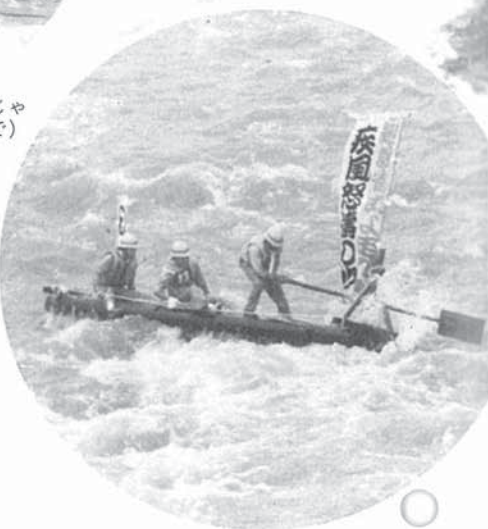
この日は、天候も水量もまずまずのコンディション。開会式のあと、おおぜいの観客が見守るなか、1チームずつ2分おきにスタート、八天や面白などの難所を苦勞しながら下り、全チームが8キロのコースを無事完走した。

☆入賞チーム

①雪谷Bチーム②おしん丸③能中丸④新宿⑤清野組丸



アレレ、こんなはずじゃなかったのに（八天で）



勇ましい旗をかかげての奮戦（建設省丸）



赤フンでがんばるぞー青年団員



この日は、町じゅうが沸いた。橋上や岸は観衆でいっ



心を豊かに強い生徒育成を

朝日中の教育活動から

校門を入つてすぐ左手に「英知・自律・和協」と刻まれた石碑が建っています。これが朝日中創立以来の教育目標です。豊かな知性をもち、秩序を守り、そして心と力を合わせる生徒であつてほしいという願いがこめられています。

その目標を実現するために、「よく考え、みずから行動する生徒」に育てることをねらいとして、授業や生徒会活動、部活動を組んでいます。

若さを競う部活動

■剣道部が大活躍

一学期の華は、部活動です。平日は四時から六時まで、地区大会が迫れば七時近くまで、コートに汗を流しグラウンドで白球を追います。

「中のアンダーシャツは汗でぐしょぐしょ、立っているだけでもつかれるし、帽子も汗で重みを感じる。体中汗だらけで全力で練習にはげんだ。風の強い時は、天の恵みだとさえ思った。それほど野球の練習はつら

く、しんどい。しかし、つらいのは僕だけではない。他校の球児も、今、同じ練習をしているのだ」

日曜・休日はスクールバスを利用しての練習試合。郡内だけでなく山形、長井方面までも足を伸ばします。剣道部は、週二回ほど夜の練習まで組んでいます。そのかいあって地区大会では男女そろって団体優勝の栄誉に輝きました。個人戦でも遠藤秀彦君と志藤

和子さんが優勝、二、三位をも独占しました。県大会では団体戦が準決勝で惜敗、三位入賞をはたしました。

野球部は準決勝で陵西中と対戦、〇対〇のまま延長

自らの手での運動会と

ふるさとを拓く学校祭

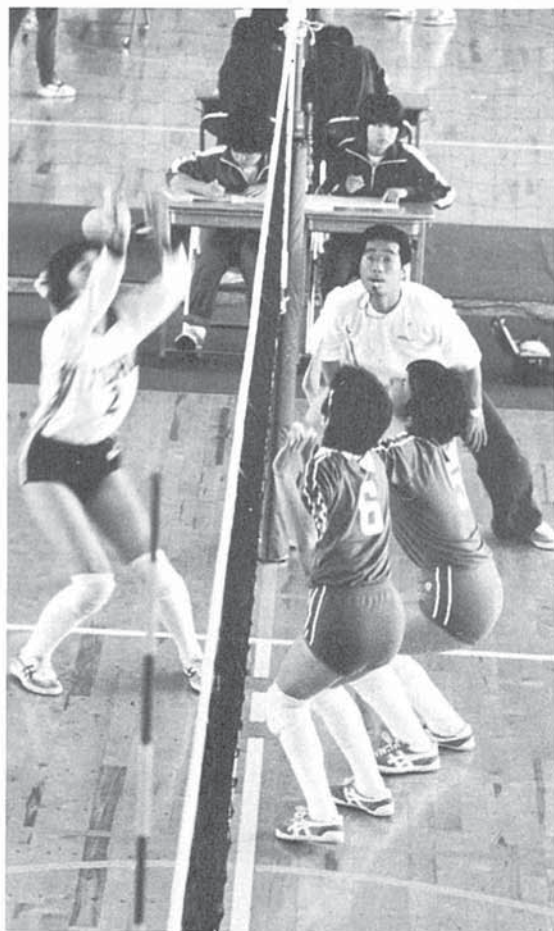
九回、二塁に走者をおいて左中間を破られサヨナラ負けを喫しました。陸上では一年女子百メートルで白田泉さんが優勝。水泳は百メートルで白田美代さんが大会新記録で一位と活躍しました。

夏休みが明けると、「走る・躍る・競う」大運動会が待っています。生徒たちが種目をきめルールを工夫しています。男子の棒たおし、騎馬戦はみんなエキサイトします。新種目のウルトラクイズ、趣向をこらした女子の新たな引きなどがです。それだけに、観客に理解しにくかった「単語作りゲーム」には、きびしい反省がだされました。

学校祭は秋の主役です。昨年度のテーマは「ふるさととの自然」でした。生徒会の執行部は訴えました。「……わたしたちのふるさとを支え発展させてきた文化、自然に働きかけ社会を進歩させてきた文化。その



学校祭では町についての理解を深めている



部活動は心身をきたえる絶好の場だ(郡中学体育大会)

いきましよう」。

取りくみは七月からはじまります。発表と展示を予定している自由研究は、学年ごとにテーマをきめました。一年は「地名調べ」で、集落名の由来・位置と歴史・世帯数と人口などをまとめました。二年は「水と生活」です。

朝日川の魚群・上郷発電所・和合堰・松程堰と手をかけました。三年は「朝日町のくだもの」とし、町を代表するリンゴに焦点を合わせました。この成果を学校祭で発表し、また、学校

文集「高嶺」にまとめました。

学校とは、一人ではできないことを集団の力で築いていく所でもあります。そのための一つに学級対抗の合唱コンクールがあります。課題曲と自由曲をハーモニー・表現・態度から審査します。また、全校生による絵画の製作も企画されました。ベニヤ板九枚にかかれた下絵の上に、色紙をはりつけていきます。体育館に掲げてある「明鏡橋」がそうです。

映画・フォークダンス・

全校合唱と閉祭式は進行します。

「……「友よ」のピアノ伴奏が流れてきた。今までにないすごい合唱だ。全員が心をこめて、いちばんいい顔で歌っている。言葉ではいい表せないものがこみあげてくる。涙があふれ笑顔がこぼれ、いつまでもその感動はやまない。『ばんざい』、どこを見ても満足そうな顔。ステージの近くでは、胴上げ。プログラムにない計画外のドラマが展開されている。また合唱……感激の中で幕はしるる」

ゆるる思春期の心

■生徒の作文から

中学生になったら、親に反抗して屁理屈ばかり並べるようになった、とよく聞かれます。だけど、彼らはそれなりに悩んでいるのです。

「このごろ、私は母にたてついてばかりいます。素直に「はい」なんて言えないのです。反抗しようなんて思っていないくても、つい口から出る言葉は文句となっています。——思春期の反抗は、人間が自分を独立したものに、つまり、自我を確立するための出発点なのだ——と国語の本にありました。中学生とは、子どもから大人へ成長する時期の一つです。反抗をくり返してこそ大人になれるのかも知れません。だけど、私はもっと素直になりたいのです」

高校進学率が95%を超えました。職安からの求人も

豊)

(執筆／朝日中教頭・鈴木



東北盲学校弁論

大会で優勝

このほど開かれた東北地区盲学校弁論大会で、松程出身の長岡恵美さん（山形盲学校中学部一年）が見事第一位に選ばれました。

題は「お母さんもうだいじょうぶ」。視角が狭く、小学三年の時から盲学校に入り、親元を離れて暮らすことの不安、苦しさを振り返り、それらを乗り越えてきた——という内容。

長岡さんは「今回の受賞ですっかり自信を持った。これからは、何ものにも負けず、力強く生きていきたい」と語っています。



気合いも激しく *白山神社剣道大会



激しくぶつかり合う選手たち

この広場は、町内の話題や皆さんの声でつくるページです。
どしどしお寄せください。

恒例の白山神社奉納剣道大会が七月十五日、大谷小体育館で開かれました。
▽三年基本技試合①鈴木和志(大谷) ②清野智彦(送橋) ③清野弥生(同) 奈良崎寛太郎(宮宿)
▽四年男子①奈良崎武志(宮宿) ②長岡明博(同) ③安藤和人(同) 海野徹(同)
▽同女子①鈴木涼子(宮宿) ②岡崎千春(同) ③清野久美子(送橋) 今井洋子(宮宿)
▽五年男子①五十嵐文哲(宮宿) ②工藤清隆(同) ③遠藤春樹(大谷) 志藤彰彦(同)

▽同女子①白田真紀(大谷) ②佐野陽子(宮宿) ③白田こづえ(大谷) 白田美加(同)
▽六年男子①大谷輝夫(大谷) ②清野泰彦(送橋) ③長岡豊(大谷) 鈴木征司(同)
▽同女子①遠藤めぐみ(大谷) ②鈴木加奈子(同) ③奈良崎洋子(宮宿) 清野直美(送橋)
▽中学男子①長岡泰②柴田仁③遠藤勇次、鈴木慶一 ●団体(小学校の部)
①大谷 ②送橋 ③宮宿

みんちは 保健婦す

夏バテを 防ぐには

七、八月の暑い気候になると、胃液の分泌が減り、胃の運動も弱くなるなど、暑さのため胃の働きが低下し、そのために食欲がなくなってきました。

夏バテを防ぐためには、胃腸の健康管理がたいせつです。胃腸の健康を保つためには、栄養不足、睡眠不足、過労などに十分気をつけなければなりません。

*夏の胃腸の健康法

- ①食事は、栄養のバランスを考え、とくにたん白質を十分にとります。食欲がないときには、適量の香辛料を使うと、胃液の分泌をうながし食欲を高めます。
- ②脂肪分の高い食物は、胃液の分泌、ぜんどう運動をおさえる働きがあるのでとりすぎないようにしましょう。
- ③夏は汗を多く出すので、

どうしても電解質が減ります。無機質やビタミンの多い果物や緑黄色の野菜をたくさんとりましょう。

④食事の時間は規則的にしよくかんで食べ、腹八分目を守りましょう。

⑤暑いからといって水のガブ飲みは避け、少量ずつ一定の間をおいて飲むようにしましょう。また、清涼飲料水には砂糖が多く含まれています。のどが渴いたときは、冷たい牛乳を飲むほうがより健康的といえます。

⑥十分な睡眠をとり過労をさける。夏休みの子どもの時間のとれる人は、ぜひ時間を決めて昼寝をしましょう。

⑦気分的にも暑さに負けないで、積極的な夏バテ解消法を考えましょう。



今日の顔

ダムまつり陰の立役者
商工会青年部長を務める

大町 柴田 彰亮さん



三代目商工会青年部長に就任して早二年。昭和十九年生まれの彼は、青年部最後の年でもある。「何が何でも今年のダム祭りは、成功させねば」と夜昼と動き回っている。消防団の最高幹部として、また宮宿公民

館の主事としてもなかなか多忙である。一年の内で家にいる時間は？と聞くと「四分の一ぐらいかな」とかえってきた。御家族の協力も大である。多忙な中にも趣味を楽しむ。スポーツ、旅行、特に

酒のほうもなかなかのもので、気分が良ければ軽く一升ぐらいは……。同年代からはもちろんのこと、年上の人、年下の人からも好かれ、信頼されて今後ますますの御活躍を願わずにはいられない。

(広報委員・今井仁志)

ヤマ・イナニジマス・コイ

つかみ捕りに挑戦 溪流まつりに1,200人

町政施行30周年を記念した第2回朝日川溪流まつりが、8月5日立木河川公園で行われ、1,200人が魚のつかみ捕りに挑戦しました。

この日は、真夏の太陽がジリジリと照りつけ、うだるような暑さとなりましたが、ヤマメ、ニジマスなど合わせて500キロが放流され、町内外から参加した人たちは、暑さも忘れ必死で魚を追いかけていました。

捕った魚を焼いて食べるコーナーや地元で出した売店・食堂も大好評。参加者たちは思い思いに夏の日を楽しんでいました。



つかみ取りは魚との知恵くらべだ

カツパたち技競う

☆小学校水泳大会

町制施行三十周年を記念した第四回小学校水泳大会が、七月十四日宮小プールで開かれました。

●個人

▽50㍎バタフライ男子Ⅱ①高取綾平(大谷)②柴田広幸(上郷)③川村豊(大谷)

▽同女子Ⅱ①佐藤さおり(宮宿)②小林佳世(大沼)

③志藤千春(大谷)

▽50㍎自由形男子Ⅱ①小林正人(大沼)②布施秀樹(宮宿)

▽同女子Ⅱ①成原みき子(宮宿)②峯田幸子(同)

③大場理加(同)

▽50㍎平泳男子Ⅱ①鈴木征司(大谷)②阿部与市(宮宿)

③遠藤和則(大谷)

▽同女子Ⅱ①渡辺千恵子(大谷)②成原志乃(宮宿)

③浅岡美紀(上郷)

▽50㍎背泳男子Ⅱ①大谷輝夫(大谷)②細谷広行(上郷)

③鈴木英樹(大谷)

▽同女子Ⅱ①鈴木香緒里

(宮宿)②遠藤めぐみ(大谷)③阿部恵子(西五百川)

●団体

▽200㍎リレー男子Ⅱ①上郷

②大谷③西五百川

▽同女子Ⅱ①宮宿②大谷

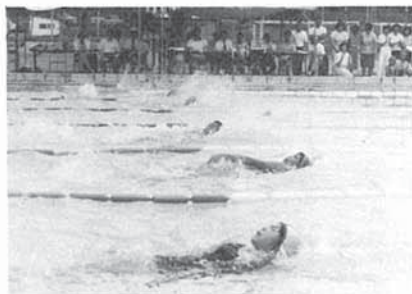
③西五百川

▽200㍎メドレーリレー男子Ⅱ①大谷②上郷③宮宿

▽同女子Ⅱ①大谷②宮宿

③西五百川

※郡小学水泳大会優勝者
▽50㍎バタフライⅡ柴田広幸(上郷)▽50㍎背泳Ⅱ白田美加(大谷)▽100㍎平泳Ⅱ渡辺千恵子(同)



新記録が2つ生れた今大会

永遠のふるさと おふくろ

佐藤 耕四郎

《東京都八王子市諏訪町330-6》



* プロフィール

- 昭和13年4月／大滝生まれ
- 昭和35年3月／朝日分校卒業
- 立川署、第八方面本部、第八方面自動車警ら隊、日野署を経て、現在武蔵野署

私の家族は、妻と長男、長女の四人家族で、長男は現在予備校生、長女が高二です。昭和五十年に現在のところに、ささやかな住居を構えました。

ここ数年は、毎年帰省して家族全員でダム祭り、郷土の風味など田舎でしか経験することのできない思い出をつくり、心の糧としております。

いま仕事を通じて思われることは、現代社会において、私たちをとりまく環境、そして人間性や心の健康をむしばむような悪条件が日ごとに増えてきていることです。

親子の断絶、はては犯罪、心のゆとりをも忘れ、自分の心に棲む内敵の思うまま

の生活を思うとき、いまあなたの尊敬する人は？と無意識に問われたら、迷わず「おふくろ」と答えることでしょう。

故郷を離れて二十数年、子どもの成長とともに、いつしか健康に注意をしなければならぬ年になり、故郷に思いをはせる昨今ですが、おふくろの面影を慕う気持ちでいっぱいになります。

戦時中のあの何もない困難な時代に、私たち七人の子どもの苦勞しながら、りっぱに育ててくれた母、その母に、「どんなに苦しいことがあっても、正しく強く、そして朗らかに生きよ」と教えられました。そのおかげで私はどんな困難に立ち向かってても、正しく強く生きるんだ、という一つの信念を持って生きてきたような気がします。

それが現在に至るまで私の心の支えでもあったわけです。これからもその母の教えを守って生きていきたいと思えます。

わたしの
ひとこと

ワイロりんご

数年振りで帰省した友人と一杯やりながらの話。

「お盆に来ればまた花火に行けたのに」「イヤ花火はこの前来た時見せてもらったからたくさんだ」と言う。

「ところで先輩、今年のリンゴはどうかネ」何をオッシャル私が農業でないのを承知で。「イヤア今年ほど恥かしい情けない思いをした事はない。何時ものように同僚や先輩に贈ったリンゴが全然食えなかった」とグサリ。

大森、川崎、横浜と支社のほうに贈った物も同様と言う。「電話中泣きたくなったネー」今年の朝日町のリンゴは、ワイロリンゴだと言う。中味が真っ黒だからワイロだとか笑われて、かえす言葉もなかったナ。上京して三十年。故郷のリンゴを日本一とみんなに贈り喜ばれてきたのが今年のリンゴで水の泡だ。心をこめた贈り物が逆に仇になって

かえってきた時、悲しいもんですよ先輩」

彼の話を聞いているうちになぜか私自身が悪い事をしたような気になって……。

意気消沈、頭垂れたままビールも手つかず。おふくろさんが見かねて「ホダナごと言ったてリンゴ屋だも割って見て送るわけいかねもの仕方ねえだナ」イヤそれにしても参ったネー。

「ところでこんなのはどうかネ。生産者が一箱ごとにPRをかねた名刺をはりつける。消費者がその名刺10枚生産者に返送するとりリンゴ一箱無料進呈というのは。ただだけせんこんな話ハハハ」

なぜか近ごろめっぽうリンゴの悪評を耳にする。彼のアイデアを生産者がどう受け止めようと御勝手。悪評のもととは極少数の生産者かも知れない。しかし、朝日町全体のイメージダウンになっている事を忘れてはなるまい。

(中部A生)

ママさんソフト県一の栄冠

☆11月全国大会に出場

八月一日、二日の両日、山形市ソフトボール球場で開かれた第四回ニチイ杯全国ママさんソフトボール大会県大会で、朝日ママクラブが見事優勝の栄冠に輝きました。

一回戦は、山形の泉町を下した寒河江と対戦。3対3の同点となり、抽選で運良く二回戦へ進みました。優勝候補として目されていた尾花沢との対戦。最終回1対2と押されきみの試合、二死者無しから、ヒット、盗塁を重ね、相手のエラーを誘い2対2としました。その後、ライ



初優勝に輝き、喜びの選手たち

八月一日、二日の両日、山形市ソフトボール球場で開かれた第四回ニチイ杯全国ママさんソフトボール大会県大会で、朝日ママクラブが見事優勝の栄冠に輝きました。

一回戦は、山形の泉町を下した寒河江と対戦。3対3の同点となり、抽選で運良く二回戦へ進みました。優勝候補として目されていた尾花沢との対戦。最終回1対2と押されきみの試合、二死者無しから、ヒット、盗塁を重ね、相手のエラーを誘い2対2としました。その後、ライ

一気にムードは上昇、7対1と圧勝しました。

決勝は上山と対戦。一回の攻防が勝負を分けたと言ってよく、盗塁を試みた二走者を殺すなど、抜け目のないブレーで4対0と相手をおねじ伏せました。

武田監督は「チーム一丸となって無欲で戦ったことが功を奏した。十一月に大阪の日生球場で開かれる全国大会に行くことになったが、御家族や町民のみなさんの応援をお願いしたい」と語っています。

☆選手名 柴田祐子（大町・主将）佐竹英子（常盤・副主将）阿部和子（立木）長岡ふみ子（太郎）阿部きよ子（今平）佐竹とく子（松程）柴田幸子（大滝）白田みや子（大谷二）鈴木元子（小原）阿部みわ子（元町）鈴木久美子（本町）佐藤洋子（新宿）松田みさを（立木）青山千代子（本町）阿部真理子（八ッ沼）清野美智子（送橋）

☆監督 武田光雄（栄町）☆コーチ 阿部賢一（今平）宮本建一（八ッ沼）

ふるさとへの便り

32

永遠のふるさとと呼ぶべきおふくろ、いくつになっても断ち難い太い絆で結ばれた母と子の情愛というものが残されているのだ、と痛感させられます。

私のふるさと朝日町は心

の友であり、指針であり、どこにもない、たった一つのふるさとなのです。

いま、このふるさとを思うとき、今後のますますの御繁栄を願わずにはいられません。

大谷長寿クラブ

日の丸公園を清掃

大谷長寿クラブ連合会（白田鶴治会長）では、毎月一回、大谷地区民の憩いの場所日の丸公園の清掃作業を行っています。

作業は、草刈りや空カン拾いなどですが、ゴミは毎回ゴミ袋で十袋以上も集まり、長寿クラブでは「ゴミの持帰り運動を進め、きれいな町づくりを」と呼びかけています。



日の丸公園の草刈りに精を出す長寿クラブ員

昨年四月行われた日ガ友好協会
発会式(左から二人目が中野大使)



青年海外協力隊員体験記

ガナ紀行 ④

西町 佐藤 勉

おれは日本人

街を歩けば「チャイニーズ」どこに行ってもチャイニーズとよく呼ばれた。

それもそのはず、十数年前には、一万名ほどの中国人が、ガナ各地で生活していたとか。

チャイニーズと呼ばれるたびに、心の中で声をだして「おれは日本人」とさげんだことか。

日本にいるとき、自分ははたして、日本人であると自覚した事があつただろうか。ガナに来て、自分が日本人である事を認識できた事はよいチャンスだった。しかし、最近では日本政府からの、建設機械などの援助が活発で、私の街から、となりの町まで全長70kmの、道路プロジェクトがスタートし、そのプロジェクトに使用される車両には日章旗がプリントされ、市中を走りまわっている。それを見るたび生徒は報告してくれ、たし、日本人として誇りに

思う。

日ガ友好協会

昨年四月クマシ工科大学で日ガ友好協会が発足。

これは、日本とガナの文化交流と優秀な学生を日本に留学させることを目的に発足されたものである。

発会式は、中野大使出席のもと、盛大に行われた。

発会式の前約一週間、日本週間と題して、日本映画、

日本製品の紹介など、たくさん催し物があつた。そこで印象に残つた事は、日本人は、物をたいせつにしないという事だ。まだ使える、動く製品が、廃棄処分

されている様子が画面に出たとき学生の頃から、もったいない「クレイジー」の

声がしきり。もう少しこの問題について我々日本人は考えてみなくてはならないのではなからうか。ガナ人は物をたいせつに、また、こわれたらいろいろ手を加えてなおす技術を持っ

ている。

途上国とは？(一)

途上国と呼ばれるガナに生活して感じた事、先進国に生活している人々が、生活していく国のように思う。何をするにも、自分の手足を動かさなくてはならない国だし、とても不便な国。また、強い人間だけが生きてゆける国。体のよい人間は出生後まもなく死亡し、マラリア、コレラの伝染病をのりこえた人間だけが生活しているガナ。

きれいな黒い瞳と笑顔の美しい国。人々は素朴で純粋な気持ちの人が多く、いつまでも純粋な気持ちで一生懸命生きてほしい。

秋の夜長にバレーボールを楽しんでみませんか。

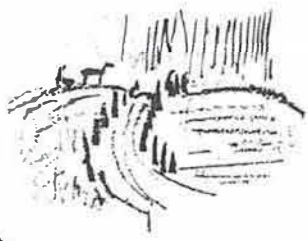
期間 9月18日から11月中旬まで

会場 町民体育館、朝日中学校体育館

試合形式 6人制、男女別リーグ戦。

表彰 1位、3位。参加チームに記念品。

申込 9月3日まで、参加料二千円を添えて教育委員会へ



情報パック

住宅金融公庫

第二回目の融資

低利・長期の公庫資金でマイホームづくりをしてみませんか。

●今年度第二回目の個人向け融資の申込受付は、8月15日から9月6日までとなっています。

●申込み、問合せは「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関へ

30周年記念

ナイターバレー大会

秋の夜長にバレーボールを楽しんでみませんか。

期間 9月18日から11月中旬まで

会場 町民体育館、朝日中学校体育館

試合形式 6人制、男女別リーグ戦。

表彰 1位、3位。参加チームに記念品。

申込 9月3日まで、参加料二千円を添えて教育委員会へ

白田元君国体へ

近藤洋子さんら
インターハイへ

大谷一の白田元君（寒河江高三年）が剣道で、十月に行われる奈良国体に出場することになりました。

白田君は、去年の県高校剣道新人戦、今年の村山地区高校総体で個人優勝。今年の県高校総体では、団体準優勝を果たすなど、輝かしい成績が認められ、国体予選の村山地区チームの選手に選ばれました。県内五地区のリーグ戦で全勝、と圧倒的な強さを見せ、国体出場を決めました。

また、町出身者が中心となっている左沢高校女子剣道が、八月十七日から秋田で開かれる全国高校総体に出場します。町出身選手は、近藤洋子（栄町）川村靖子（大谷六）堀千津子（中沢）安藤弘美（送橋）。さらに、近藤洋子さんと川村靖子さんは、八月二十五日寒河江市で開かれる東北総体に出場します。



送りましょうか

送られましょうか

せめて峠の茶やまでも

石の地蔵さんも

泣いている。

唄に思い出はよりそい、思い出に唄は静かに語りかける。

荒砥街道は、宮宿―荒砥間、一六歳の街道である。いく百年の昔から人馬の往来、物資や文化の交流に大きい役割を果たしてきた古道である。その基点は宮宿の柴町付近であった。



杉山の青面金剛

大滝の柴田峯太郎さん

（87歳）は語る。「今の町立病院前の道を南に進んで、山に上った。山の頂上に庚申様が祭られている。この前を通り、杉の原に出て大滝の室の角に出た。ここには追分石が建っていた。

『右ハ左沢、左ハ大沼、信州小野甚右エ門』と書かれていた。道路改修の時、惜しくも土中に埋没した」と。古道はここから川べり

荒砥街道

宮宿―荒砥

に下って、さらに現在の国道に登り、日陰の沢の旧道の奥に入って、峠の茶やに上ったという。

峠の茶やから上郷小の裏を通り、沢の佐藤藤助さんの所を通過、宇津野に出た。

古道はさらに上に登って宇津野の裏側を通り、松原の厳島神社の裏をぬけて、今の須合田に出た。

杉山の入口は三百㍎近い

山であるが、その山に登って、現在の杉山部落内の道路に出たのである。さて、問題は杉山―大瀬間であった。これについて、鈴木商店のきみばあさん（81歳）は語る。

「村のはずれ、湯殿山の所から杉山鉱泉の所まで下って、そこから川づたいに大瀬にいった。ひと

一人通れるのがやっと。私の記憶だけでも洪水のため鉱泉は三回、道路は五、六回流された」。古道は全く命

がけの道路であった。「明治二十年、郡道として宮宿、荒砥間開通」とある。江戸時代の前期、上り荷は、うるし、青苔、はっか等で、

中期から明治時代にかけて、まゆ、生糸等が盛んに長井、米沢方面に移出されたようである。

下り荷は木綿、絨物、干物等が主であった。

鈴木源蔵家の文書に「一、絹糸 九貫匁

荷主、伊達、善左エ門宿、能中村 宗七 右之絹糸、御領内々相調へ 米沢表持参致候由、御改所御通遣サルベク候 文化四年七月 鈴木源蔵 杉山口御改所

(文/広報委員・長岡幸助)



荒砥街道



59年7月1日～7月31日届出

*出生

区名	出生者氏名	父名	母名
本町	志藤文柄	浩治	長女
西町	菅井優太	昭彦	長男
助ノ巻	鈴木俊吾	俊昭	長男
沼向	菅井充	秀男	二男

*死亡

区名	死亡者氏名	年齢	世帯主
小原	清野奈津美	一郎	長女
四ノ沢	鈴木一成	寛治	長男
松原	安藤香	学	二女
大谷二	白田太洋	久雄	長男
大谷三	石井康博	喜久男	長男
大谷五	清野篤	貞夫	二男
太郎一	佐竹由香理	敏幸	長女
栗木沢	佐久間千夏	貢一	長女
杉山	鈴木悠未	久和	長女
能中	大滝喜明	喜永二	二男
前田沢	佐藤瑞衣	忠明	長女
助ノ巻	阿部世理奈	宏	長女
大町	鈴木聖子	昭一	長女

町民憲章と私

相手の身になり

親切をつくす

*安藤さとみさん(米町)



高校生ボランティアサークル「とちっぽ」の代表として活躍している、朝日分校の三年生。「子どもの集い」や明鏡荘への慰問、映画会など幅広く奉仕活動を行ってきた。

「義務や使命として奉仕しても相手の人は喜んでくれない。しぜんに、何気ない気持ちで親切にできる人間になりたいと思います」

子どもたちとは、すぐ友だちになる。町で偶然会った子にお礼を言われたりするときはずごくうれしいとのこと。

(広報委員・阿部和義)

*結婚

水本	岡崎	吉郎	86	嘉治男
栗木沢	志藤	米吉	80	正雄
元町	佐藤	スン	84	正一
大谷四	布施	うめ	84	利隆



教育振興資金を贈る

このほど次のかたがたから教育振興資金として町に対して現金が贈られました。

▽鈴木貞夫さん(四ノ沢)

110万円

▽長岡克彦さん(西町)

110万円

宮宿小学校へ

テント寄贈

このほど、本町の安達淳寿さんから宮宿小学校へ、各種競技設備用テント二張(六万二千元)が贈られました。



大都會の田舎をもたない人々に呼びかけ昭和四十九年に、全国で初めて特別町民制度を作った福島県三島町を五十三年に視察、また今年訪ねた。「再視察、恥かしいです。あの当時からあんまり変わっていないでしょう。一連のふるさと運動は、産業としての域まではまだです」と控え目に、案内の企画課長。しかし、町営美坂牧場など施設整備はみんな手づくりの見事なもの。

「でも今にして良かったと思うことは、都会の芸能人、文化人たちとの交流ができ、深まってゆくなかで、町の人々が触発、刺激されたということです。こうしちやいられないー自力開発を町民の口から聞けるようになりました。そのほうの成果は計り知れません」山村の農業再興は有機農業以外にない、とサークルが出来た。農業は天候に左右

される。毎年作柄で一喜一憂する経営ではだめ。どんな時でも家にはこれがある、と言える財産作りをと、町がすすめた会津桐の植栽。こんどはその資源を活用した生活工芸村づくりと、ふるさと運動の夢はさらに広がる。

「人口がどんどん減ってゆくなかで振興計画などたてようもなかった。上位計画に従った定型的な町づくり手法を排し、遅くとも、自力手づくりの町づくりを進めてきたことに間違いはなかった。五十五年やっと町の振興基本計画が出来ました。これが計画書です」B四紙一枚、むずかしい言葉は一つもない。基本テーマ、サブテーマが、だれにでも分かりやすく整理され書かれている。そこには哲学があり、ロマンがある。我が町も合併して三十年。ものを言うだけの時代は終わった。竹の節は太いほど倒れないという。大きな節目にしたいものだ。

(蛙子)

福祉向上のために

現金贈る

このほど次のかたがたから、社

会福祉協議会に現金が贈られました。

▽渋谷一俊さん(大森山)

113万円

▽長岡京子さん(西町)

115万円